



奨 励 賞

生物多様性に配慮したまちづくり

～練馬区（仮称）ホタルの里事業に対する一連のコンサルティング～

マネジメント部門



- ①完成したホタルの池
- ②ホタルの生育池の管理に関するワークショップ
- ③管理用足場としての飛び石を据えた
- ④池の周囲にセリ・フキ等を植栽した
- ⑤ヘイケボタルの幼虫、タニシ、カワニナ、モノアラガイを放流した



株式会社東京ランドスケープ研究所

小林新・上田早織・野間慎司・武田亘典

かつて練馬区では、石神井川、白子川などでホタルの飛ぶ姿が見られ、自然豊かな環境に生息するホタルは、みどり豊かな練馬区の象徴であった。「（仮称）ホタルの里事業」は、ホタルを豊かな水やみどりのシンボルとしてとらえ、ホタルを区民とともに育成し、自然と命の大切さを広く伝え、またかつて見られた自然環境を再現し、生物多様性保全の場をつくることを目的とする取り組みである。

作品概要

作品名——生物多様性に配慮したまちづくり
～練馬区（仮称）ホタルの里事業に対する一連のコンサルティング～

依頼者——練馬区みどり推進課

対象地——練馬区大泉町1-5-1

コンサルタント——株式会社東京ランドスケープ研究所

業務期間——2012年6月～2014年12月

規模——約2,500㎡

主要施設——ホタル池と流れ・園路など

基本方針

- ①生物多様性保全のための環境整備
- ②ホタルの生息環境の回復・創出
- ③管理運営体制の構築

環境整備にあたっては、右上に示した『HOTARU』に込めた6つの視点を踏まえ、練馬区の原風景を思い起こすことのできるホタルの里づくりを目指し、3年間にわたりコンサルティングを行った。

H O T A R U	Healthy environment
	健全な環境の創出
	Open space
	区民協働型の緑地の管理・運営
	Teaching
	環境学習や科学への知的好奇心の促進
A R T	Art
	芸術・文化活動の促進
	Recreation
U N I V E R S A L	区民の憩い・交流・遊び・観察の場
	Universal design
	区民誰もが、生物までもが喜ぶ場の創出

作品評

この作品は、練馬区内でかつて見られたホタルを、豊かな水やみどりのシンボルとしてとらえ、ホタルを区民と協働で育成することで、自然と命の大切さを伝える「ホタルの里事業」を立ち上げたものである。提案者は事業の実施計画をまとめ事業地の設計を行い、その地を維持管理する組織をまとめた。3年という短い期間の中で、HOTARUという全体方針をまとめ、対象事業地を決めるとともに専門家を交えたワーキングを重ねつつ設計を行い、観察会まで実施した努力が評価され、奨励賞となった。